



## 仲間を増やして、要求実現を勝ち取る26春闘に！



### 道医労連 第39回中央委員会

道医労連は1月24日に中央委員会を開催し、15組織から32名の中央委員、顧問・役員合わせて57名が参加しました。来賓の日本医労連の佐々木中央執行委員長から「これまでの取り組みの成果で診療報酬の引き上げ、介護報酬の期中改定がなされたが、まだ他産業との格差は大きい。大幅賃上げと大幅増員を実現し、運動を促進して政治を変えていこう」と挨拶がありました。道労連の出口事務局長から「診療報酬の引上げは医労連の運動の結実だが、この間去って行った仲間たちの思いと残る仲間たちの思いを武器に、熱量を上げてさらなる賃上げを実現することができるはず」と挨拶がありました。

執行部から第1号議案の2026年春闘方針案の提案と中間決算報告、脱退組合報告が行われ、討論では13組織17名から、春闘に向けた取組内容や職場実態の報告などの発言がありました。26春闘方針案は満場一致で採択され、スト権投票も満場一致で確立。濱谷委員長の団結がんばろうで終了しました。

### 道医労連 2026春闘方針のまとめ

#### 全体の情勢

- ①病院の約7割が赤字
- ②現場の人手不足・離職が深刻化
- ③賃金は他産業より低水準のまま
- ④政府は社会保障削減をすすめている
- 👉現場は限界!!制度を変える必要がある



#### これまでの賃金・一時金闘争

- ・月額5万円以上、時給300円を要求
- ・使用者は人件費に回せる財源が不足
- ・処遇改善を訴え続け、政府を動かした
- ・それでも他産業との差は埋まらない

👉社会的役割にふさわしい賃金が必要!!

### 4つの重点課題と取り組み

#### ①すべてのケア労働者の大幅賃上げの実現と働くルールの確立

産別結集リストを構え、大幅賃上げを取りに行く春闘に!!格差是正や職場改善も前進させよう!!

日本医労連の「スト回避基準=月額15,000円のベースアップ」を軸にスト回避基準を議論しよう!!

#### ②夜勤規制・大幅増員、安全・安心の医療・介護・福祉の実現、社会保障の拡充

道医労連による学習会や宣伝行動を通じて、「大幅増員・夜勤改善署名」の力を高めよう!!

#### ③憲法改悪阻止、戦争法廃止、いのちと平和を守る政治の実現

私たちの要求実現につながるよう、選挙に関する情報を共有しながら、みんなで選挙に行こう!!

#### ④組織強化・拡大

対話を重視して、医労連共済の活用や青年部・女性部などを通じて仲間を増やし、要求前進を!!

# 中央委員13組織16名からの発言内容①

## 道南勤医労 野村さん



春闘に向け、ストへの理解と意識強化に取り組んでいます。スト権投票は7割の集約に留まり、「ストの意味が分からぬ」との声もあったことから、学習会を重ねて知識の共有を進めてきました。目標は全面ストの実現です。春闘アンケートも集計中で、賃金不足の深刻さが浮き彫りになっています。「行動なくして現状は変えられない」の思いを共有し、現場で疲弊する仲間に寄り添う役割を果たしていきます。

## 十勝勤医労 吉野さん



十勝勤医労では法人の経営悪化が続く中、患者確保に奮闘してきましたが、一時金が減額となり、厳しい状況が続いています。管理体制の不備による損失や人員不足も深刻で、ベテラン職員の退職が相次ぎ、現場の負担が増しています。一方で、旺盛に活動する組合員が原動力となり、共済加入につながり組合活動が前進しています。引き続き職場の声を届け、労働条件改善に向けた取り組みを進めていきます。

## オホーツク勤医労 佐藤さん



オホーツク勤医労では、今回の報酬改定を賃上げ実現の機会と捉えています。春闘アンケートでは67%が賃金不足を訴え、不足額も約5万円に迫っていることを根拠に、賃上げの必要性を共有する方針です。ストをどう構えるかの議論で組合員の団結を深め、賃上げによる人材確保による労使双方の活性化を法人へ訴えるとともに、地域での署名活動を通じて春闘要求の実現につなげていく考えです。

## 道北勤医労 中村さん



道北勤医労では、医労連提起のスト回避基準1万5千円を基礎に議論し、診療報酬改定の賃金改善分1.7%から算出して、第1案として病院本体5千円のペアを回避基準に設定し職場討議しています。現場からは物価高に見合はない賃金への不満が多数寄せられ、賃上げの実現に向け粘り強く交渉に臨む方針です。人員不足の中スト配置には困難もありますが、学習を重ね団結を強めながら進めていきます。

## 道東勤医労 三坂さん



26春闘は歴史的で、胸が躍るような気持ちです。賃上げ実現の大きなチャンスとなっています。いのちに寄り添う仕事に見合った賃金を勝ち取るため、今春闘は始まったばかりですが27春闘、28春闘に明るい展望が持てるよう、組合員を巻き込み奮闘する決意です。また、同一労働同一賃金の是正や慶弔休暇の改善などの成果も他の組織にも波及させていきたいと思います。

## 北海道勤医労 木幡さん



北海道勤医労介護部会では、訪問介護の人手不足や低賃金、労働条件の問題など、現場の課題を共有しています。現場の声を集め、動画で楽しく取り組めるキャンペーンで要求実現を目指しています。病院・施設給食の現場は物価高と人員不足で長時間労働が常態化し、低賃金が定着を妨げています。安心安全な食事提供を支えるためにも、賃金ペア実現に向け法人と国へ訴えを強めていく方針です。

## 全医労 渡邊さん



全医労北海道地方協では、国立病院存続を求める自治体要請を進め、道内8自治体で意見書採択を実現し、新たな採択も広がっています。地域医療改善に向け、請願や署名活動を引き続き強めていく方針です。また、診療報酬改定が現場の賃金に反映されるよう交渉を進め、状況を見極めストも検討しています。今後もスト支援や新入職員への組合説明会への協力をお願いします。

## 国共病組斗南 清水さん



国共病組では、公務員の賃上げが実施されたにもかかわらず、病院職員には賃上げゼロ回答が示されたことに強く抗議し、賃上げと一時金改定を求める署名行動を進めています。使用者優位の姿勢を改めさせるため、産別に結集する方針です。現場では増床に伴い業務負担が増す反面、増員は行われず、夜勤体制の過重負担や安全面への不安が広がっており、人員増と職場環境改善に向けて取り組みを強めていきます。

# 中央委員13組織16名からの発言内容②

## 北海道勤医労 伊達さん



秋闇で一時金は回復したものの、スト回避基準を下回る法人がありストに突入、抗議文送付や激励を行い、上積み回答を引き出しました。26春闇は「働き続けられる職場」をテーマに全員ベア実現を目指す一方、経営悪化や事業再編、退職者増で人手不足が深刻化しています。看護師不足への外部依存や不安定雇用拡大に対し問題提起を続けています。署名活動や自治体・国会要請に取り組み春闇を前進させていく方針です。

## 全日赤 阿部さん



日赤では待機手当変更があり、手当が減額となる職場も出て、待機の負担が十分に評価されていないとの声が上がっています。組合は本社に実態調査を求め、増額や遡及支払いを含めた改善を交渉しています。また、定年延長で賃金が7割に引き下げられることも、経験・技術軽視として問題視しています。人員確保を理由に賃金を下げるのではなく、働き続ける職員を大切にするよう今春闇でたたかっていく決意です。

## 全JCHO北海道 筧本さん



JCHOでは人事院勧告に準拠しているものの、この2年間は賃上げが行われておらず賞与も経営状況しだいとなっており、組合ではこの2年間の賃上げを求めています。また、署名活動の取り組みでは、署名用紙の追加を求める職場も出るなど、現場の関心と不満の高まりが見られました。職員からの現状への不満の声は多く、全国組織として力を集め、社会運動にも取り組みながら春闇をたたかいたいと思います。

## 北海道勤医労 上原さん



勤医労中病支部では、組合員800人のうち日勤者約500人を対象に、スト配置を300人、保安要員200人の体制を計画しています。配置が難しい職場でも、積極的に全ストへの取り組みを検討して欲しいです。診療報酬・介護報酬改定をめぐるパブリックコメントへ取り組み、現場の声を届けましょう。報酬改定に伴う自己負担増、政策が生む貧困の問題などを社会に伝えながら運動を進めたいと思います。

## 道医療一般 村山さん



釧路赤十字病院の新人看護師パワハラ自死事件の遺族として、現在は過労死防止授業などを通じて学生に働き方や労働組合の役割や必要性を伝える活動を続けており、相談を受けた看護師たちを各地の医労連につなげる取り組みも行っています。裁判が終盤に来ていますが、これからもできることから運動を広げ、長年支援してくれている道医労連に寄与していきたいと思っています。

## 全労災美唄 斎藤さん



病院の建て替え計画について、組合として建て替え自体に反対する立場ではないものの、雇用の継続が保障されること、患者に不利益が生じない形で進められることが重要であると思います。しかし、建て替えに関する具体的な進捗は見られていない状況で、現在の病院では耐震性など安全面の不安が強く、倒壊の危険性も懸念されます。引き続き雇用や医療提供体制に問題が生じないよう交渉していきます。

## 名寄東 川口さん



職場では退職者が相次ぎ、組合員も減る厳しい状況の中で、要求を出し続けても赤字を理由に却下され、心が折れそうになることが何度もありました。それでも要求し続けた結果、今回ついに夜勤手当の大幅引き上げを勝ち取ることができました。長時間拘束の二交代勤務の苦労が報われ、職員のモチベーションにつながりました。あきらめずに声を上げ続ければ結果に結び付く信じ、残る課題にも立ち向かいます。

## 全医労 古名さん



全医労で取り組んでいる運動や署名は、単に職員の賃金改善だけを求めるものではなく、先進医療や専門医療を担い、地域で唯一の医療機関としてセーフティネットの役割を果たしている国立病院を守るための運動です。しかし当院でも休棟が続き病院の存続が危ぶまれる状況となっています。地域医療を守るためにも署名運動が必要です。国会審議まで到達し、あと一押しの局面です。多くの協力をお願いします。